

発行所/JA広島総合病院
〒738-8503 広島県廿日市市地御前1-3-3
Tel.0829-36-3111(代) Fax.0829-36-5573
2022年(令和4年)1月28日(金)発行

パソコン www.hirobyo.jp



新年のご挨拶

JA広島総合病院
副院長
溝岡 雅文



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年四月に副院長を拝命した溝岡と申します。内科医として当院に赴任して4年、廿日市のあたたかさを日々実感しております。今までは内科診療を中心に参りましたが、副院長として新型コロナウイルス対策をはじめとした病院の診療全般・経営に携わる事となりました。地域医療の向上に貢献できるよう尽力していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミック宣言後二度目のお正月を迎えました。広島は東京・大阪ほどではありませんが、冬の第三波・夏の第五波と感染の拡大で当院も大きな影響を受けました。発熱外来の設置、手術・検査の延期など一般・救急診療の制限も行われました。そして苦渋の決断ではありましたが、院内感染予防の為に厳しい面会制限も実施する事となり、皆様に孤独と不自由さ、

不便さをも感じさせてしまう事となりました。

感染症の大流行は人類の歴史の中で何度も生じています。2000年前の1822年はコレラ「虎列刺」が日本国内で初めて流行した年になります。世界的にみるとコレラは数百万人の感染者が発生している病気ですが現在の日本では年間数十人程度です。また、100年前に流行したスペイン風邪(インフルエンザ)の感染爆発では世界人口の半数から3分の1が感染しましたが2年程で終息しています。先日、米国の首席医療顧問ファウチ所長は「新型コロナウイルスの感染はパンデミック(世界的大流行)からエンデミック(一定地域で普段から継続的に発生する段階)に移行し、制御できるようになるだろう」と発言しています。新型コロナウイルスの治療薬の開発とワクチンによる集団免疫が確立されて近い将来新型コロナウイルス感染症は風邪の一つになると予想されています。

また新型コロナウイルスの流行により限られた医療資源の分配という課題も浮き彫りとなりました。諸外国では人生の最終段階の医療やケア等について話し合うアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の推進が行われています。日本政府も「人生会議 ACP」の普及と

啓発活動を始めています。この機会に皆様も「どのような生き方をしたいのか、そしてどのような最期を迎えたいのか」を一度考えてみてはいかがでしょうか。

春には当院の病棟新築工事が始まる予定です。地域の医療機関との連携をさらに強化して皆様の健康を守るため職員一同努めて参ります。本年が皆様にとりまして良い一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



🎄 クリスマスカードをいただきました 🎄

日本赤十字広島看護大学の学生さんたちからクリスマスカードをいただきました。

従来であれば、学生さんたちによるキャンドルサービスを複数の病棟で行い、入院患者の皆さまへ歌を届けていただいていたのですが、昨年に引き続き今年も新型コロナウイルス感染を防止するため中止と致しました。

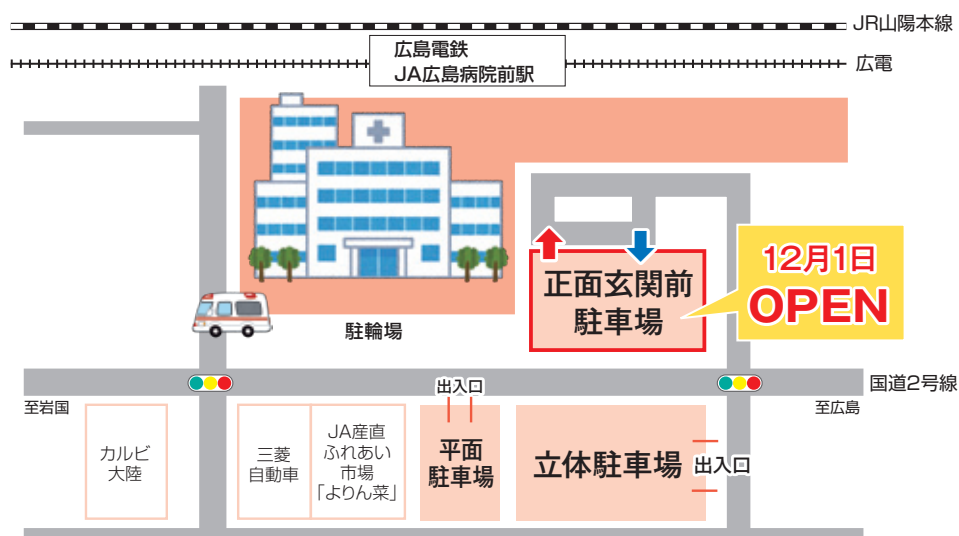
キャンドルサービスは日本赤十字広島看護大学様の伝統的な行事であり、中止は非常に残念ではありますが、昨年、今年とクリスマスカードという形でその伝統を守り続けておられます。

令和3年12月21日
(火) から12月27日
(月) まで東3階病棟
と西5階病棟のナース
ステーション前に飾ら
せていただきました。
誠にありがとうございました。



正面玄関前駐車場の利用を開始しました

令和3年12月1日(水)より正面玄関前駐車場の利用を開始しましたのでお知らせ致します。



■ご利用料金

入庫後30分	無料
入庫後30分～2時間	200円 (以降60分100円) ※金額の上限はありません